

# 災害情報研究会の活動

2017年5月30日

特定非営利活動法人 事業継続推進機構 (BCAO)  
災害情報研究会

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 活動頻度、メンバー

## ■ 活動頻度

2006年度から計116回実施、毎月1回開催

17年度で  
12年目

## ■ 災害情報研究会メンバー

(2017年5月現在：26名、順不同)

	氏名	会社名	氏名	会社名
座長	市川 啓一	(株)レスキューナウ危機管理研究所	新免 國夫	岡山県
副座長	高橋 克彦	インフォコム(株)	富田 邦裕	(株)建設環境研究所
	野田 浩二	アジア航測(株)	松岡 晶子	富士通エフ・アイ・ピー(株)
	東根 聡	(株)建設環境研究所	梅田 浩史	リスクマネジメントオフィス梅田
	副島 紀代	(株)大林組	赤堀 三代治	ARMS
	若林 亮	(株)イー・アール・エス	國貞 至	(株)リッジ
	大島 啓一	(株)富士通マーケティング	海老澤 聡	(株)湘南スタイル工房
	三島 和子	三井住友海上火災保険(株)	坂口 繁伸	日本特殊塗料(株)
	南部 世紀夫	清水建設(株)	中村 譲治	中村危機管理システム
	西濱 靖雄	西濱防災ネット技術事務所	宮角 良介	e-経営推進室
	上倉 秀之	(株)セノン	砂原 健利	(株)富士通総研
	前田 良二	富士火災海上保険(株)	栗原 龍	(株)NTTデータCCS
	高木 雄司	(株)富士通エフサス	松久 正彦	富士通(株)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 活動風景



(BCAO日本橋オフィスにて)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 研究内容のご紹介

## ■ 研究テーマ

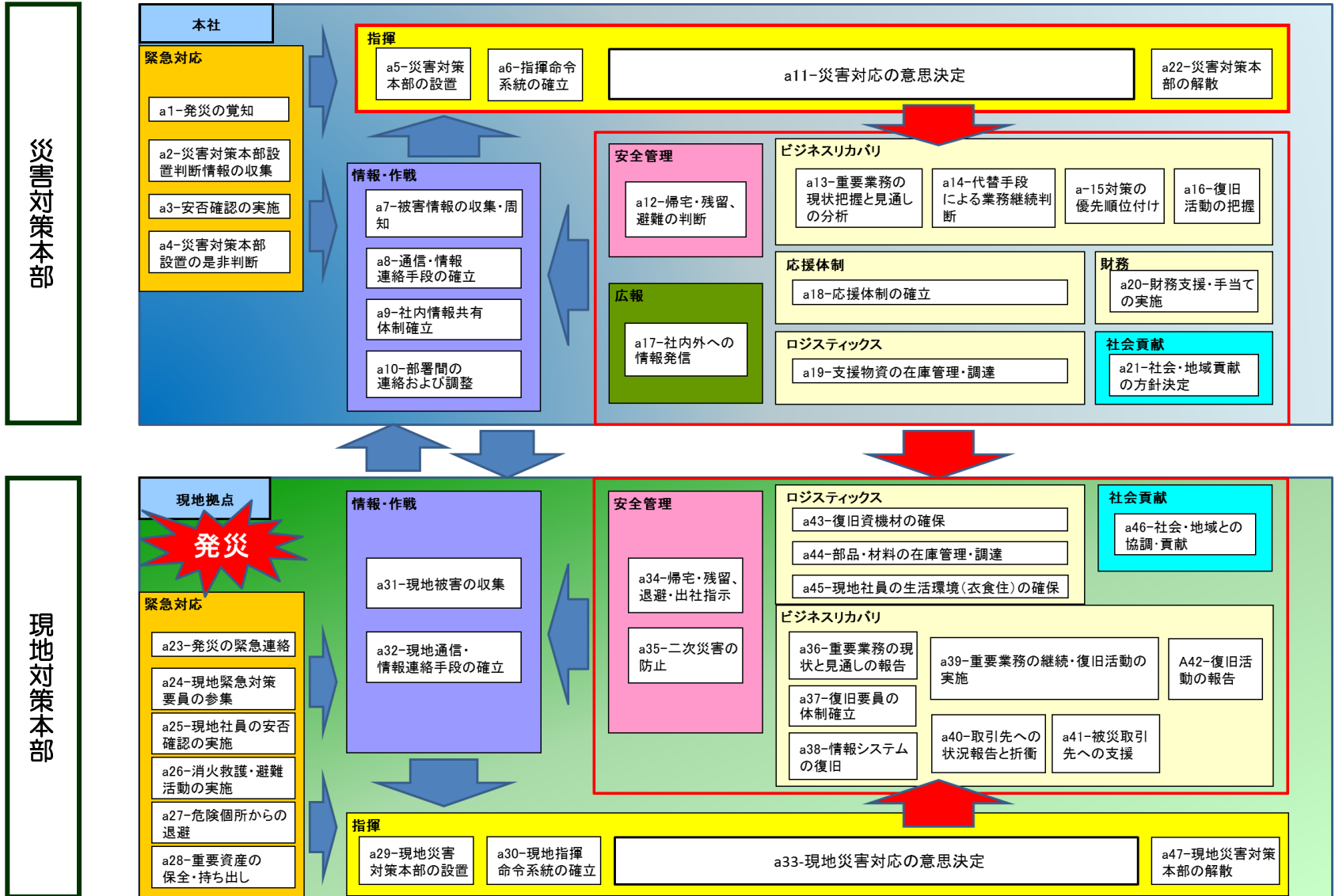
災害時の情報シミュレーションを行う

## ■ 研究概要

- ① 災害発生直後の初動対応や復旧活動を迅速・的確に行うために必要なアクションと情報項目を抽出
- ② 情報をどこからどのように入手するかを整理
- ③ 各アクション別に情報の流れをフロー図にして見える化
- ④ フロー図を汎用性のあるアクションカードに整理

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 検討① 災害対応フロー図のまとめ



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 検討② インプット／アウトプット情報の整理

アクションの実行に必要な情報（インプット情報）と、実行した結果発信される情報（アウトプット情報）を抽出

(例) a31、a32

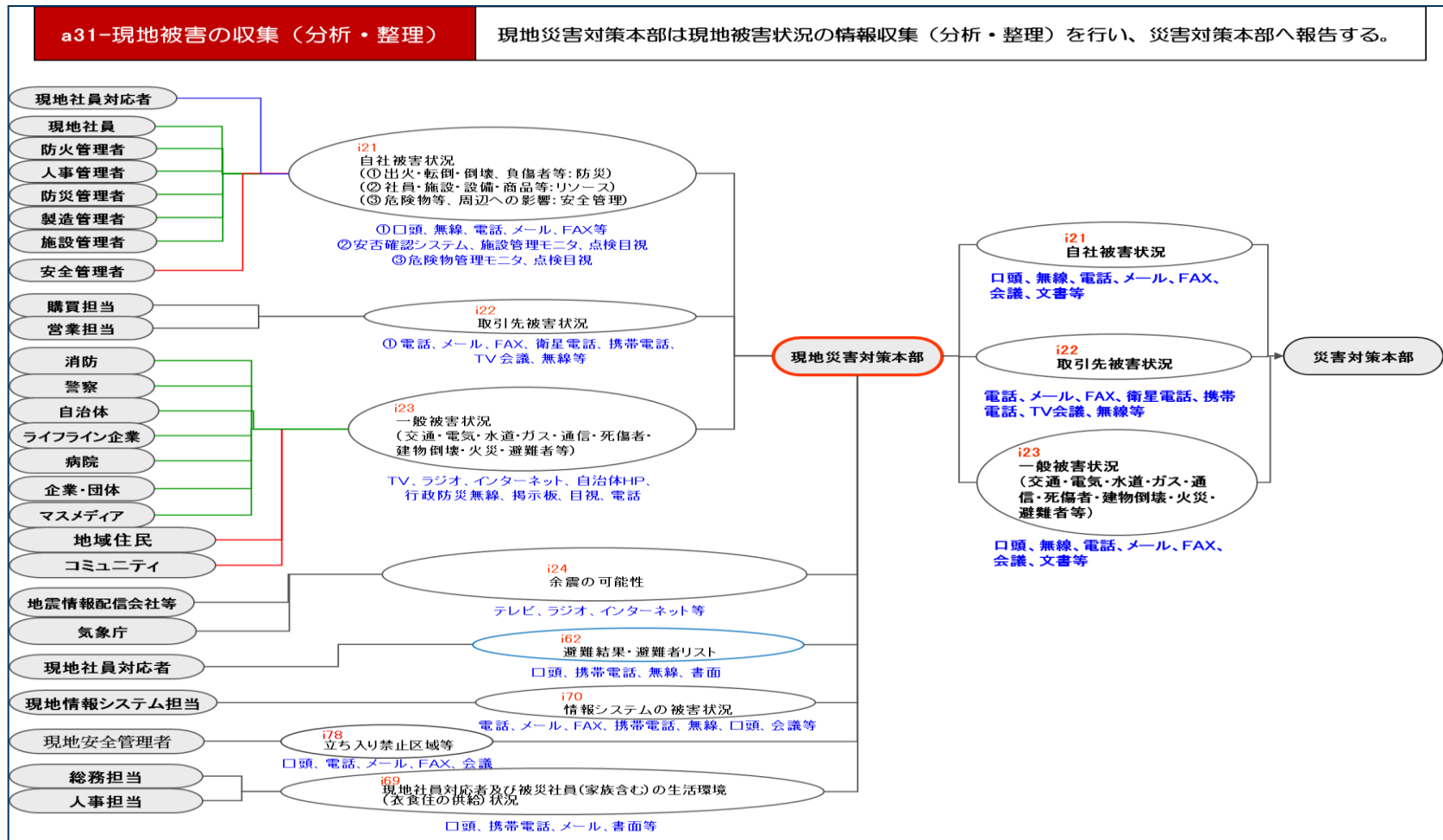
アクション	インプット情報	アウトプット情報
a31-現地被害状況の収集（分析・整理）	i21-自社被害状況	i21-自社被害状況
	i22-取引先被害状況	i22-取引先被害情報
	i23-一般被害状況（交通・電気・水道・ガス・通信・死傷者・建物倒壊・火災・避難者等）	i23-一般被害状況（交通・電気・水道・ガス・通信・死傷者・建物倒壊・火災・避難者等）
	i24-余震の可能性	i70-情報システムの被害状況
	i62-避難結果・避難者リスト	-
	i69-現地社員対応者及び被災社員（家族含む）の生活環境（衣食住の供給）状況	-
	i70-情報システムの被害状況	-
	i77-安全管理・注意事項	-
	i78-立ち入り禁止区域等	-
a32-現地通信・情報連絡手段の確立	i21-自社被害状況	i27-通信手段の確立指示
	i26-通信事業者の被害状況	-
	i27-通信手段の確立指示	-

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 検討③ アクション項目別フロー図の作成

## 情報の流れをフロー図にして見える化

### (例) a31：現地被害状況の収集（分析・整理）

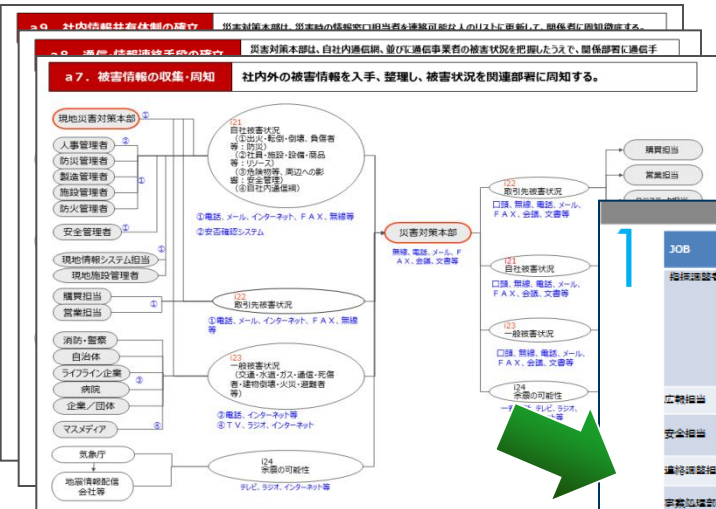


※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 検討④ アクションカードの作成

アクション項目別フロー図を汎用性のある「BCPアクションカード」として展開可能な形へ

(フロー図)



(企業での実用化)

BCP発動後の体制 (災害対策本部)

JOB	担当部門	アクション番号
指揮運営者	指揮運営者	A-4 災害対策本部設置の最終判断 A-5 災害対策本部の設置 A-6 指揮命令系統の確立 A-12, A-34 備蓄・救援・避難の判断 A-21 社会・地域貢献の方針決定 A-32 災害対策本部の解散 A-29 現地災害対策本部 (東京) の設置 BCPの発動から対策本部の解散までの指揮を行う。 A-48 現地災害対策本部 (東京) の解散
広報担当	広報課	A-17 対外的な情報発信
安全担当	CSR・リスク	A-1 防災の発知 A-2 災害対策本部員の非常呼集 A-3 安全確認の実施 (更新を促す)
連絡調整担当	経営企画課	
業務支援部門	総務課	
情報作戦部門	IT企業課	A-7 被害情報の収集 A-9 情報共有体制の確立 A-10 緊急時の連絡および確認
災害管理部門	総務課	A-13 重要業務の稼働把握と負担しの分析 会社インフラの稼働状況確認する。
原資対策部門	財務経理部	A-8 通信・情報連絡手段の確立 A-19 物産の在庫管理・連携 A-20 対策支援・手当ての実施

(汎用化)

アクションカード No.A-7

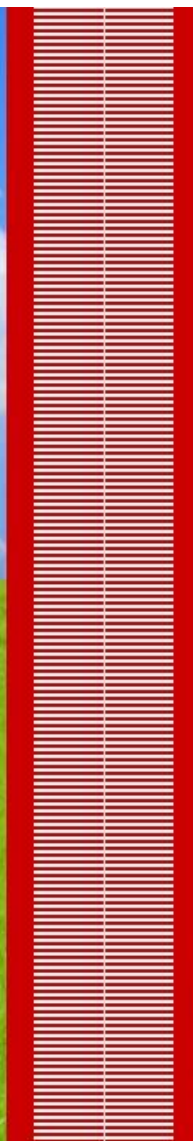
項目	被害情報の収集・周知	責任者	災害対策本部長	
社内外の被害情報入手、整理し、被害状況を関連部署に周知する。				
No	目標時間	アクション手順	担当者	アクションに必要な情報の入手・伝達方法
1		自社被害状況を収集する (現地社員・関係者、現場システム担当者、各管理者)		詳細は、A-7-1参照
2		取引先被害状況を収集する (購買担当・営業担当)		詳細は、A-7-2参照
3		一般被害状況を収集する (メディアや現地関係者等)		詳細は、A-7-3参照
4		余震の可能性を確認する (気象庁・地震情報配信会社等)		詳細は、A-7-4参照
5		自社被害状況を整理・周知する (広報担当へ)		詳細は、A-7-5参照
6		取引先被害状況を整理し周知する (購買・		

BCPアクションカード

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。



# 2016年度実施内容（研究会合宿）



旅のしおり  
災害情報研究会岩沼合宿



2016.8.1 ~ 8.2



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 2016年度実施内容（研究会合宿）



今回の旅プラン

災害情報研究会

「BCPアクションカード」の完成をめざして!!

アクション項目別フロー図を汎用性のある「BCPアクションカード」として展開可能な形へ

(フロー図)



(企業での実用化)

項目	内容	担当者	完了日
1	BCPアクションカードの作成	山本	2016.10.31
2	BCPアクションカードの検証	山本	2016.11.30
3	BCPアクションカードの普及	山本	2016.12.31
4	BCPアクションカードの更新	山本	2017.03.31

(汎用化)

項目	内容	担当者	完了日
1	BCPアクションカードの汎用化	山本	2016.10.31
2	BCPアクションカードの検証	山本	2016.11.30
3	BCPアクションカードの普及	山本	2016.12.31
4	BCPアクションカードの更新	山本	2017.03.31

BCPアクションカード

6:00	
7:00	
8:00	
9:00	08 東京駅発 はやぶさ/こまち 9号
10:00	40 仙台着 50 仙台発 5番線
11:00	07 岩沼着
12:00	30 迎車 (被災地視察)
13:00	(被災地視察)
14:00	(被災地視察)
15:00	00 岩沼市役所様 熊本と東北の復興 の違いなど
16:00	災害情報研究会
17:00	災害情報研究会
18:00	00バーベキュー 開始
19:00	30バーベキュー 終了
20:00	モンタナリゾート 迎車 30 モンタナ着
21:00	
22:00	

6:00	
7:00	
8:00	モンタナにて朝食
9:00	みんなの家で 災害情報研究会
10:00	
11:00	玉浦小学校
12:00	昼食 HotDog&COFFEE
13:00	災害情報研究会
14:00	災害情報研究会
15:00	41 岩沼発
16:00	30 仙台発 はやぶさ/こまち 24号
17:00	
18:00	04 東京着
19:00	
20:00	
21:00	
22:00	

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 2016年度実施内容（研究会合宿）

## 8月、東日本大震災復興状況視察&合宿を実施



（講師のみなさま）



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 防災マイスター（防災学習検定）缶バッチ寄贈



【缶バッチ】

岩沼市立玉浦小学校では「防災マイスター」という試験があり、合格した子供たちに、災害情報研究会の有志で缶バッチを作成し寄贈しました。

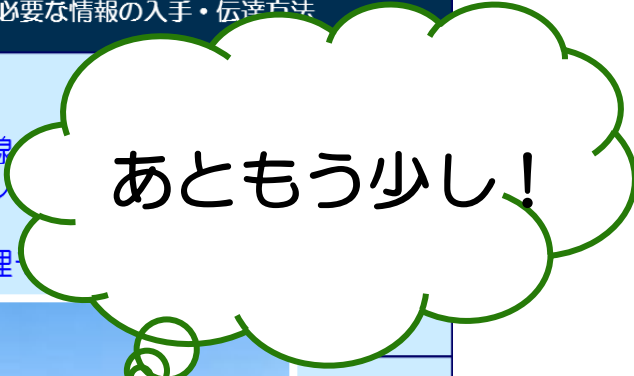


※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 2017年度活動計画①

## 「BCPアクションカード」の完成

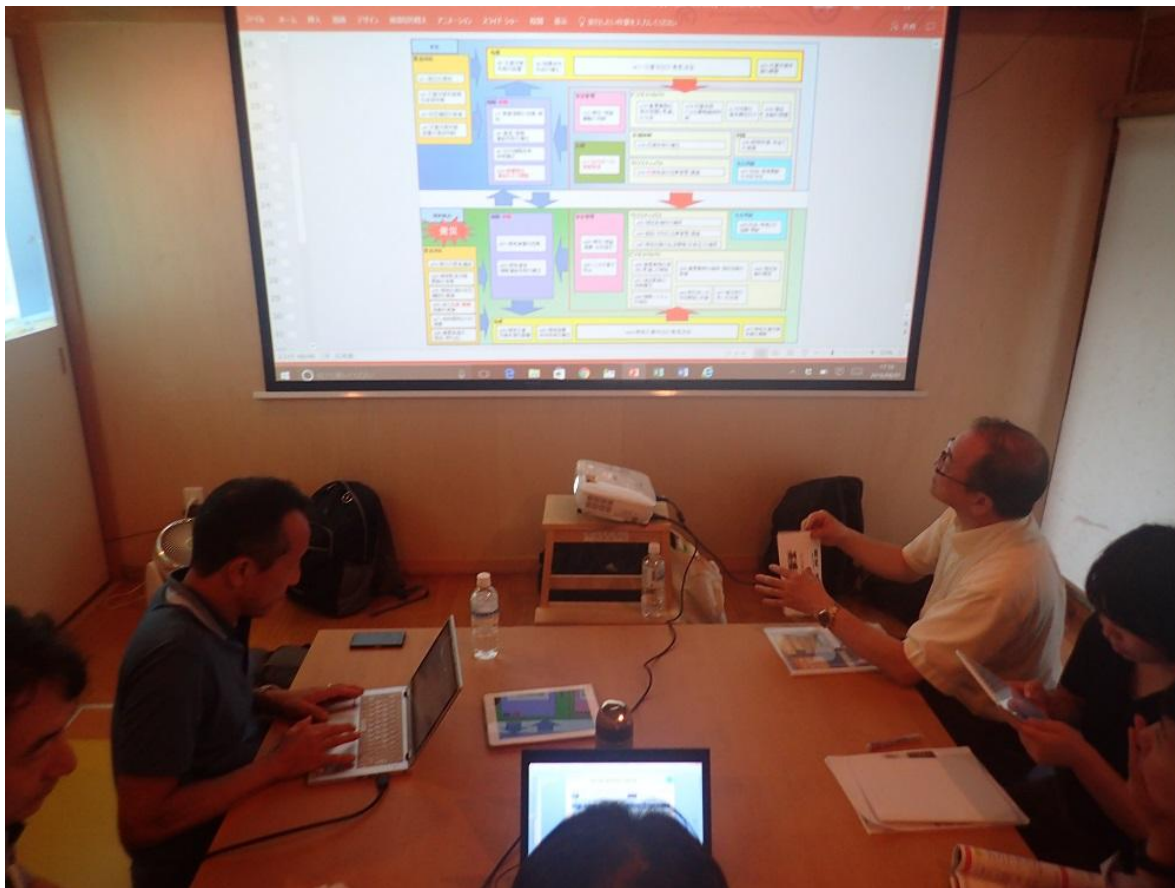
アクションカード No.. A-31-1					
項目 現地被害状況の収集（分析・整理）-1				責任者 現地災害対策本部	
現地災害対策本部は現地被害状況の情報収集（分析・整理）を行い、災害対策本部へ報告する。					
No	目標時間	アクション手順	担当者	アクションに必要な情報の入手・伝達方法	
□ 1		現地災害対策本部は「現地社員対応者」「現地社員、防火管理者、人事管理者、防災管理者、製造管理者、施設管理者」「安全管理者」より自社被害状況（①出火・転倒・倒壊、負傷者等：防災）（②社員・施設・設備・商品等：リソース）（③危険物等、周辺への影響：安全管理）を収集する。		①口頭、無線 ②安否確認シ 検目視 ③危険物管理	
□ 2		現地災害対策本部は購買担当、営業担当より取引先被害状況を収集する		、携帯電	
□ 3		現地災害対策本部は消防、警察、自治体、ライフライン企業、病院、企業・団体、マスメディア、地域住民、コミュニティより一般被害状況（一般被害状況（交通・電気・水道・ガス・通信・死傷者・建物倒壊・火災・避難者等）を収集する。		自治体H 、電話	



※ 本資料の文責は研究会にあり、BCA0全体の見解ではありません。

# 2017年度活動計画②

## 研究会合宿を実施予定



(イメージ)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。

# 最後に



みなさまの入会を  
お待ちしております！



(合宿での懇親BBQ)

(研究会恒例 紅白歌合戦)

※ 本資料の文責は研究会にあり、BCAO全体の見解ではありません。